

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 筋萎縮性側索硬化症患者における正確な腎機能評価法の検討

【研究責任者】 齊藤勇二 病院脳神経内科診療部

【本研究の目的及び意義】

筋萎縮性側索硬化症は原因不明で、治療も限られた疾患です。近年、リルゾールに加えてエダラボンが保険適用となりましたが、腎機能障害の副作用があり、投与前に正確に腎機能の評価する必要があります。筋萎縮性側索硬化症患者さんの腎機能をより正確に評価する方法を検討し、より安全に治療が受けられるようにすることが研究の目的です。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2016年3月1日より2022年3月までの間に、脳神経内科に入院し、腎機能評価なされたことのあるALS患者様とパーキンソン病およびパーキンソン症候群患者様が対象です。

利用する試料・情報等

情報等:診療録(診断名、身体所見、生理・画像検査の検査結果等)

研究期間

2017年3月1日より2023年3月31日まで

研究資金

本研究は精神・神経疾患研究開発費「疾患レジストリ・網羅的ゲノム解析を基盤とした神経変性疾患の融合的・双方向性研究(3-4)、研究代表者 高橋祐二」「認知症・神経変性疾患の基礎・臨床融合研究(3-3)、研究代表者 岩坪威」、日本学術振興会 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般))研究課題名「新規病因遺伝子に基づく筋萎縮性側索硬化症の共通病態解明と治療基盤開発」研究代表者:高橋祐二で賄われ、特定の企業からの資金の提供は受けておりません。また、本研究に係る全ての研究者及びその配偶者などの家族は、本研究に関連する企業との間に経済的利害関係、雇用関係は一切ありません。従って、研究者が企業等とは独立して計画し実施するものであり、研究結果及び解析等に影響を及ぼすことはありません。本研究に携わる研究者等は、いずれも利益相反状態にないことを確認しています。

2022年1月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 神経内科 氏名 齊藤勇二

電話番号 042-341-2711

e-mail:saito※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)